

令和2年度
農事功績表彰者名簿

令和2年11月16日

公益社団法人

大日本農会

目 次

	受章者数	頁
農 事 功 勞 者		
紫白綬有功章	3名	2
緑白綬有功章 (国内)		
北海道・東北地域	11名	5
関東地域	11名	8
北陸地域	5名	11
東海地域	3名	13
近畿地域	5名	14
中国四国地域	6名	16
九州・沖縄地域	9名	18
緑白綬有功章 小計	50名	
計	53名	
農 業 改 良 普 及 功 勞 者		
緑白綬有功章 (国内)	4名	21
農 業 技 術 開 発 功 勞 者		
緑白綬有功章 (国内)	1名	22
本 会 功 勞 者		
紫紅綬名誉章 (国内)	2名	23
紅白綬有功章 (国内)	5名	23
合 計	65名	
(内訳)		
紫紅綬名誉章	2名	
紫白綬有功章	3名	
緑白綬有功章	55名	
紅白綬有功章	5名	

農 事 功 労 者
紫白綬有功章（国内）

3名

氏 名	住 所	経営部門	表 彰 事 由
うちだ つたえ 内田 傳 (73歳) 緑白綬有功章 平成22年度受章	山梨県 中央市	花き部門	<p>1 昭和40年に就農後、養蚕+野菜の複合経営への転換を図り、その後、イチゴのハウス栽培を経営の中心に位置づけ、スイートコーン、プリンスメロン等の導入を進め、野菜主体の複合経営を確立した。昭和53年、通年雇用と規模拡大が可能なシンビジウム栽培を開始し、順次施設を拡大して、昭和58年には洋ラン専作経営となった。また、シンビジウム栽培に適した夏期の冷涼な環境を得るため、八ヶ岳南麓に山上げ栽培用地を確保し鉄骨加温ハウスの建設により開花株の通年管理を開始するとともに、有限会社内田洋蘭を設立し法人経営に移行した。平成9年には周年出荷可能なコチョウランを導入し洋ラン専作経営を確立した。</p> <p>平成28年からは、消費が不安定なシンビジウムから夏採りイチゴに経営の一部を転換し、コチョウランと夏イチゴを中心とした複合経営による高収益な経営モデルを確立している。</p> <p>2 平成元年に「山梨県洋ラン山上げ組合」を作り、集団山上げ地確保や施設の整備、事業導入等を中心となって取り組み、八ヶ岳南麓での山上げ栽培の普及に尽力し、八ヶ岳南麓の洋ランの産地化に貢献した。また、県花き園芸組合連合会洋ラン部会長等として洋ランの高品質化や生産振興に貢献したほか、ジャパンフラワーフェスティバルやまなし2002等のイベントで成功に尽力し、県花きの知名度向上に貢献した。全国組織でも、県を超えた洋ラン生産者の連携強化や花きの消費拡大に取り組んだ。</p> <p>平成28年には、「全国洋ラン生産協会」の立ち上げに尽力し、設立後は顧問を務め、時代に合った新たな事業の展開や組織活動の強化等の牽引者として活躍した。近年もピラミッドアジサイ「ライムライト」の生産拡大に取り組む産地化に大きく貢献するとともに、「ピラミッドアジサイ研究会」の立ち上げに尽力し、県農業技術センターが取り組む技術研修会の開催、栽培・出荷技術の検討、商品PRや消費者ニーズの把握を目的とした市場商談会への参加などピラミッドアジサイの生産拡大に向け積極的に取り組んでいる。</p>

氏名	住所	経営部門	表彰事由
ごうだ まさみつ 合田 政光 (80歳) 緑白綬有功章 平成22年度受章	香川県 観音寺市	複合部門	<p>1 昭和38年にUターンし、野菜を主体とした兼業農家を後継したが、その後乳用種3頭を試験導入した後、会社を退職し畜舎を新設し黒毛和種の導入による肉用牛肥育と露地野菜の複合経営を本格稼働させた。さらに、地域でビニールハウスを整備し、キュウリ、トマト、コサックメロン等を導入し、機械装備の充実等による経営の安定化を図った。その後も、肥育素牛の調達方法や肥育方法を工夫するとともに、野菜栽培についても新技術を絶え間なく導入し、夫婦間で家族経営協定を締結するなど健康でゆとりある農業経営をめざした。</p> <p>平成28年からは、JA関係機関等と連携して配合飼料設計の変更や牛RSウイルス感染症に関し独自のワクチネーションプログラムを樹立し、子牛の事故防止と枝肉重量の増加による販売成績の改善を図った。令和元年からは衛生管理等の改善や今後の輸出を考慮し、関係機関と連携しつつ令和3年度のJGAPの認証取得を目指し経営改善に取り組んでいる。</p> <p>2 昭和47年に施設野菜を先駆けて導入して以来、地域のリーダーとして、様々な生産組織や出荷組織を組織するなど地域を牽引し、県下でもトップクラスの施設園芸団地の形成に貢献した。また、環境保全型農業の拡大と地域農業の振興に寄与した。さらに地域の枝肉成績のレベルアップによる収益向上を推進し、県のブランド牛「讃岐牛」の出荷リーダーとして販売促進等に尽力した。</p> <p>近年は「オリーブ牛」を県内全域に広めるため丁寧で情熱的な説得に奔走し、讃岐牛・オリーブ牛振興会の活動に精力的に取り組み、京阪神、首都圏に加え、EU方面への海外輸出に発展させた。また、県農業経営士として県内外からの研修生を受け入れるなど後継者の育成や小学生への食育や地域住民の農業体験の場として農場を地域に開放し、農村文化の伝承や地域活性化に尽力している。</p>

氏名	住所	経営部門	表彰事由
ながの 永野 (73歳) 緑白綬有功章 平成22年度受章	福岡県 みやま市	果樹部門	<p>1 昭和41年、露地ミカンと水稲で就農した後、徐々に開墾を進めミカンの規模拡大を図り専業経営に転換し、「宮内伊予柑」、「原口早生」等への更新をいち早く進め、適正な品種構成による長期の有利販売と労働配分の適正化を図った。その後、自己施行により基盤整備を実施するとともに、スピードスプレヤーの導入や園内道の整備により管理作業の省力化を進めた。また地域に先駆けシートマルチ栽培を実践し、その後も計画的な改植、樹木の小型化を図り、効率的な作業環境の整備を進め、作業道のコンクリート舗装と高うねマルチ栽培により防水効果を高めるなど品質向上を実現した結果、地域で群を抜く高い高糖度ブランド商品率と低コスト生産を達成した。</p> <p>近年は、園地毎の防除履歴を蓄積し、効果的な病害虫防除に活用することにより、安全・安心なミカン作りに努め、平成19年からは部会全体でGAPの取組の推進を牽引している。</p> <p>2 地域でいち早く大規模な低コスト基盤整備を実施し、省力化と高品質果実生産の先鞭をつけ、全国カンキツ研究大会で視察園に選定されるなど基盤整備のモデルケースとして地域へ波及した。また、作業の機械化や軽労化を進め、シートマルチ栽培等の高品質果実生産が可能な園地づくりを先導したほか、スピードスプレヤーの普及と利用率向上に貢献した。他方、ミカン価格が低迷する中、「園地登録制」を導入し、生産者の意識改革と生産意欲の向上につなげ、市場から高い評価を得るなど信頼される産地づくりに寄与した。地域の柑橘青年部のリーダー的存在として活躍し、その後は県育成品種の「早味かん」や「北原早生」を中心とした優良品種への改植を進め、産地のブランド力向上及び地域の生産者の経営改善に長年にわたり貢献した。近年も消費拡大運動に取り組むとともに、柑橘部会長としてJA管内の果樹集出荷施設の再編統合を進め、研究会会長としても県内果樹農業の振興に尽力したのみならず、第60回全国カンキツ研究大会を実行委員会会長として我が国カンキツ産業の振興と発展に寄与した。</p>

緑白綬有功章（国内） 50名
 （北海道・東北地域11名）

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
きえき まさひこ 佐伯 昌彦 （65歳）	北海道 洞爺湖町	施設ミニトマト・セルリー作経営	1 化学肥料・化学合成農薬のみに頼る栽培から脱却し、有機ミニトマトなど持続可能な農産物生産を確立。規模拡大と労働生産性を上げることで継続的な通年雇用を実現。 2 クリーン農産物生産技術を普及し、食の安全・安心を消費者に届ける「とうや湖ブランド」の確立に貢献。新規就農者や青年農業者への指導・助言など、担い手育成に尽力。
こんどう ひでみ 近藤 英實 （65歳）	北海道 標茶町	酪農経営	1 乳牛のストレス軽減のため放牧を取り入れたフリーストール牛舎での飼養管理を確立するとともに、優れた飼養管理技術で高い牛群成績を達成。 2 道指導農業士として、町内の農業後継者及び農業を支える人材の育成に尽力。地元高校との連携事業や積極的な実習生受入により未来の農業の担い手育成に貢献。
うめき しゅうじ 梅木 修司 （70歳）	青森県 六ヶ所村	酪農経営	1 草地の拡大やラップサイレージの導入により高品質で栄養価の高い自給粗飼料を確保。牛舎環境の改善や牛群検定を活用した個体管理の徹底等で県内トップレベルの酪農経営を確立。 2 乳牛の改良や個体管理の実証と地域への波及により牛群検定加入農家の拡大や地域全体の乳量・乳質向上に貢献。研修受入や若手農業者への支援等により地域リーダー等の育成に尽力。
さとう しょうえつ 佐藤 昭悦 （69歳） さとう とよこ 佐藤 豊子 （65歳）	岩手県 遠野市	ワサビ作・加工経営	1 水ワサビの栽培技術の確立により品質及び生産量の向上を実現。加工品の開発による経営の多角化と加工品を活用した産地化によりワサビの生産振興に貢献。 2 地域全体の栽培技術の向上を目指すとともに、ワサビ産地としての知名度向上に貢献。県農業農村指導士として産地の維持発展のため若手生産者の育成にも尽力。

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
たむら ひでひろ 田村 英寛 (63歳) たむら みきこ 田村 美紀子 (64歳)	岩手県 久慈市	肉用牛一貫・ 酪農経営 (法人)	1 生産コストを抑えた規模拡大により1,000頭を超える大規模経営を確立。牧場直営の焼き肉店の出店と商品開発、酪農部門と和牛部門2つの法人化による先進的な経営を実現。 2 自らの経営の規模拡大を図る一方で、堆肥センターや生乳工場を設立し、地域の生産環境の整備に貢献するとともに、放牧利用によって耕作放棄地の解消に尽力。
いわさ くにお 岩佐 國男 (78歳)	宮城県 山元町	施設イチゴ専 作経営	1 ウォーターカーテンシステムや夜冷短日処理技術を先駆的に導入し、地域におけるイチゴの早期出荷技術を確立。震災後は高設ベンチの養液栽培で安定した大規模経営を実現。 2 園芸振興会の技術部長として、イチゴの早期出荷技術導入・定着に貢献。東日本大震災後はJA組合長として、イチゴを始め、地域農業全体の早期の復旧・復興に尽力。
つちだ ゆういち 土田 雄一 (72歳) つちだ ようこ 土田 陽子 (73歳)	秋田県 にかほ市	酪農経営	1 夏山冬里酪農で培ったジャージー牛の飼養管理技術により草地型酪農経営を夫婦で構築。31品目もの乳製品創出と独自の販売戦略で「酪農＋乳製品製造＋観光」部門を家族経営で実現。 2 酪農と乳製品の製造・販売に係る業務体系を確立し、地域の観光振興とにぎわいづくりに貢献するとともに、県内外の食品業界のロールモデルとしても高い評価。
あさの いくこ 浅野 育子 (68歳)	秋田県 秋田市	モロヘイヤ 作・農産加 工・農家レス トラン経営	1 自ら無農薬で栽培したモロヘイヤを使用した「モロヘイヤ麺」の開発・製造・販売。県内で農家レストランを初めて開店するなど、県内の6次産業化の先駆者。 2 県女性農業士や指導農業士、グリーンツーリズム協議会長として、地域のアグリビジネスを牽引。麺づくりや農作業体験の場を子供たちに提供し、地域の食育活動を推進。

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
まつうら さとし 松浦 敏 (72歳)	山形県 鶴岡市	エダマメ・施設 トマト・稲 作複合経営	<ol style="list-style-type: none"> 1 減農薬養液栽培でトマト年2作、直売所へ長期全量出荷。水田畑地化工事の有効性実証とえん麦すき込み等の連作障害回避技術を用いエダマメ「だだちゃ豆」を全面積特別栽培。 2 県指導農業士として長年後継者育成に貢献。地区JAにおけるエダマメ「だだちゃ豆」の生産振興に尽力。集落営農法人連絡組織役員として県内集落営農組織の連携に貢献。
おおぬま とういち 大沼 藤一 (64歳)	山形県 川西町	肉用牛肥育経営	<ol style="list-style-type: none"> 1 多彩な生産者による生産組合を設立し、米沢牛の繁殖部門と肥育部門の連携による地域内一貫体制の生産基盤を整備。 2 耕畜連携による地域資源循環型農業の推進に貢献。農業委員会会長として、担い手への農地の集積・集約化に向けた推進活動を先導。
おおわだ まさゆき 大和田 正幸 (69歳)	福島県 いわき市	施設野菜作 (トマト・観 光イチゴ・ア スパラガス) 経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> 1 東北で最初にオランダ型の温室を導入し、トマト養液栽培の技術確立・生産振興に貢献。イチゴの養液高設栽培、施設アスパラガスの導入とともに、JGAPの導入により経営を安定化。 2 トマト出荷協議会の会長として、市を代表するブランドトマト「サンシャインいわきトマト」の創出に貢献。農業大学校生などの研修や視察の受け入れなど担い手の育成に貢献。

(関東地域 11名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
こうた ふさお 國府田 房雄 (72歳)	茨城県 下妻市	水稲・小麦作 経営 (法人)	1 先進農業機械の積極的な導入により経営基盤を安定化。新品種の導入や酒蔵との酒造好適米の契約栽培により新たな販路を開拓するとともに、法人化により合理的な経営を実現。 2 市認定農業者協議会会長として、海外先進地研修を提案する等地域の農業技術の発展と担い手間の連携強化に貢献。市農業委員等として、農地保全、土地改良事業の推進に尽力。
おおごし かずお 大越 一雄 (69歳) おおごし うたこ 大越 歌子 (65歳)	栃木県 下野市	水稲・大麦 作・農産加工 経営 (個人・法人)	1 家族内の役割明確化と機械化に適した水田改良で米麦大規模経営を実現。米直販からの消費者交流の経験を活かし地元農産物加工品の直売も加えて経営の多角化を実現。 2 一雄氏は全国稲作経営者会議会長として全国の稲作経営者の資質向上に尽力。歌子氏は女性農業士として農業・地域発展に、女性起業で女性の経営や社会参画に貢献。
ほそかわ やすひこ 細川 康彦 (67歳)	栃木県 鹿沼市	肉用牛繁殖経 営 (法人)	1 フリーバーン牛舎の建設と超早期母子分離方式の導入により、大規模肉用牛繁殖経営を実現。後継者への経営移譲を契機に経営を法人化。 2 大規模和牛繁殖経営を実践し、JA和牛繁殖部会長等として、和牛繁殖の振興と県の和牛改良に貢献。農地最適化推進委員等として、担い手への農地集積、研修生の受入れや後継者組織の活動を支援。
きむら さかえ 木村 榮 (72歳)	群馬県 藤岡市	ネギ・水稲・ 小麦作複合経 営	1 社会情勢に応じ柔軟に品目転換しながら土地利用型複合経営を実現。ネギは掘取機や半自動調製機で省力化。水稲のWCSについては自ら地域の販路確保で耕畜連携を先導。 2 地域JAネギ部会初代部会長として産地化を牽引。長く市農業委員会会長として担い手育成に尽力。地域の諸組織の要職を歴任し、家族経営協定等の新しい行政施策を率先して実行。

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
たけい よしゆき 竹井 好行 (71歳)	埼玉県 行田市	露地野菜作 (サトイモ、 カリフラ ワー、カブ 等) 経営 (法人)	1 様々な品目を組み合わせて野菜の周年栽培を確立し、年間雇用の導入および作業の効率化を実現。遊休農地対策のため、水田で栽培可能なサトイモを新たに導入し主品目に育成。 2 県指導農業士として就農希望者を研修生として受け入れ、就農後も経営が安定するように生産から販売を支援。地域の農地を引き受けて共に発展する野菜産地育成に尽力。
たかしな りょういち 高品 亮一 (69歳)	千葉県 銚子市	露地野菜作 (キャベツ・ ダイコン) 経 営	1 キャベツ・ダイコンの新品種導入・機械化などによる規模拡大の実現。新規に落花生生産及び「サラダごぼう」を生産拡大し、地域の農業振興に貢献。 2 県指導農業士会の会長等を歴任し、多くの農業後継者の育成に尽力。精力的に落花生の栽培指導や食育ボランティア活動を展開し、児童・園児等への食農教育に貢献。
よこた たつお 横田 竜雄 (61歳)	東京都 町田市	植木直売経営	1 公共事業用の樹種から消費者が購入しやすい中低木に変更し、植木の直売を開始。冬期の根回し作業等による品質向上、消費者交流を重視した経営で植木直売の業態を確立。 2 地元JA部会長として市内産植木の生産管理指導と規格の統一化で公共事業への活用を推進。廃棄されていたユズ果実利用の新商品開発で市の農商工連携活動に貢献。
いしだ しげお 石田 栄男 (65歳) いしだ とよこ 石田 豊子 (62歳)	神奈川県 伊勢原市	酪農経営 (法人)	1 乳牛の改良増進と健康に配慮した飼養管理の徹底により量・質ともに高い乳生産を実現。耕畜連携による有機物循環など環境と調和した都市近郊型酪農経営を確立。 2 担い手育成、畜産環境保全や資源循環型農業の実践、親子3代にわたり継承し進化を遂げた都市近郊酪農の実現により、地域畜産の振興や地域農業の発展に貢献。

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
かとう まさひこ 加藤 政彦 (76歳)	山梨県 甲府市	肉用鶏経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> 1 「甲州地どり」の飼養管理技術を確立。甲州地どりの安定生産や生産性の向上を図るため生産組合を設立し、地どりの加工・直販等先進的な6次産業化の取組を実践。 2 生産者団体の要職を務め、県内の養鶏振興に貢献するとともに、地域農業の活性化に貢献。生産体制の確立・販促活動の展開等により甲州地どりのブランド化に尽力。
ふるはた よしあき 古幡 芳明 (72歳)	長野県 山ノ内町	リンゴ専作経営	<ol style="list-style-type: none"> 1 高品質なリンゴ生産に向けて「ふじ」や「シナノスイート」における「芳明式下垂枝せん定」と「青実果」を除去する摘果方法を確立。着色系枝変わり「芳明つがる」を育成。 2 「芳明つがる」を地域の生産者に普及し、産地ブランド向上に寄与。県果樹研究会理事等を歴任し、高品質生産に関わる技術を指導し、農家後継者やIターン者の育成に尽力。
かわい まさひろ 河合 正博 (70歳)	静岡県 浜松市	葉ネギ専作経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域で新たに葉ネギ周年栽培を始め、経営の規模拡大と省力化を推進。環境問題となる牛糞を良質な堆肥として活用し、高い生産技術や循環型農業を確立。 2 県農業経営士協会会長等を歴任し、農業経営士等の活動を通じて地域の農業者を牽引し、地域農業の振興に貢献。高校生などの研修を受け入れ、次世代の担い手の育成に貢献。

(北陸地域 5名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
たかはし ひでのぶ 高橋 秀信 (65歳)	新潟県 長岡市	レンコン専作 経営	<ol style="list-style-type: none"> 1 早生品種の導入や冷蔵貯蔵による長期出荷体系を確立。レンコン掘機の導入による作業性の大幅な向上及び従業員雇用によるレンコン専作の大規模経営を実現。 2 地区のれんこん生産組合長を長年務め、就農希望者等の受入体制構築や栽培指導等、産地の強化・継続的発展に寄与。小中学生への出前授業や体験交流による農業理解を促進。
いたはな まくお 板鼻 喜久雄 (65歳)	新潟県 南魚沼市	水稲専作経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> 1 トップブランドである魚沼産コシヒカリ産地において、規模拡大と農地集約、機械化で作業効率を高め、徹底した品質向上の取組により、安定した稲作経営を実現。 2 魚沼産コシヒカリのブランド化を地域で牽引したほか、県指導農業士会会長として米政策への提言等を通じ、地域農業のみならず県農業全体の振興に貢献。
みなもと はるお 源 春夫 (72歳)	富山県 射水市	水稲・大豆・ 大麦・エダマ メ作複合経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> 1 集落を越えた地域営農を構築。乾田V溝直播等の新技術を導入し、生産調整の多くを麦・大豆で対応しつつ、エダマメやチューリップ球根導入で複合経営の基盤を強化。 2 営農組織の広域合併モデル波及と水稲新技術導入への貢献で市の担い手耕地面積率81%に。地域JAえだまめ部会長として県内初のJGAPの団体認証で産地形成に貢献。
かわはら よしまさ 川原 義正 (69歳)	石川県 輪島市	水稲・クリ 作・農産加工 複合経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> 1 条件不利な中山間地域で水稲は作業受託から全面受託に移行して規模拡大。米やクリの自社での加工・販売で6次産業化を軌道にのせ、収益性の高い複合経営を確立。 2 県農業共済組合連合会副組合長や県農業振興協議会会長等を歴任し農業振興に貢献。就農希望者の受け皿となるのみならず後継者育成に尽力。子育て支援で県内の食育にも積極

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
かいとう せいじ 海道 清次 (75歳)	福井県 坂井市	水稲・大麦・ ソバ作経営	<p>1 水稲の作付規模拡大とソバ等地域性を活かした転作作物の導入により安定した2年3作体系を確立。作期拡大や直接販売等に取り組み収益性の向上に努力。</p> <p>2 そば粉を直接販売する一方で、そば道場を開設し県内外の越前おろしそばの消費拡大PRや食文化振興に尽力。坂井地区の中でも特色のある「丸岡そば」のブランド構築に寄与。</p>

(東海地域 3名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
よしもと かずお 吉本 一雄 (64歳)	岐阜県 飛騨市	夏秋トマト・ 水稲作複合経営	<ol style="list-style-type: none"> 1 トマト・水稲作複合経営で、トマトは共同育苗施設の幼苗接ぎ木セル苗を導入、水稲は作業受託で面積拡大。この間、菌床シイタケや特産カボチャでリスク分散も実施。 2 園芸の生産組合役員を歴任し、生産活動の活性化等に尽力。指導農業士等として研修生の受入れと就農希望者の支援に貢献。農協理事等として地域の農業振興に活躍。
かみや とよあき 神谷 豊秋 (62歳)	愛知県 碧南市	切花バラ専作 経営 (個人・法人)	<ol style="list-style-type: none"> 1 バラ共選出荷組合、農事組合法人設立に参画。全国に先駆けた湿式輸送採用やヒートポンプ、炭酸ガス発生器等の早期導入で品質向上技術を確立。日本有数のバラ産地形成を牽引。 2 産地維持のため後継者育成に長年貢献。県農業経営士協会会長として提言等で農業振興に貢献。小学生への花育や農業大学校実習生を受入れ、地域の農地環境保全にも尽力。
たかはし とおる 高橋 徹 (57歳)	三重県 松阪市	茶業経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> 1 最先端技術の積極的な導入により、地域特産物「深蒸し煎茶」の発展に貢献。時代の変化に的確に対応した大規模化、機械導入による省力化、GAP認証取得等を実践。 2 地域茶業の構造改革に先導的に取り組み、地域あげての経営の大規模化や作業の機械化等に大きく貢献。青年農業士、指導農業士として後継者の育成等に尽力。

(近畿地域 5名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
ひらばやし まもる 平林 衛 (73歳)	京都府 京丹後市	酪農経営 (法人)	1 ジャージー牛の原乳加工に早くから取り組み乳製品を販売・提供。新商品の開発や牧場に併設する販売施設での直販のほか、インターネット販売等による多彩な販路を展開。 2 市商工会筆頭理事として、地域の発展のための活動を牽引。牧場周辺施設は地域の観光資源として雇用の創出や地元産品の情報発信を通じて地域の活性化に貢献。
にし の たかよし 西野 孝仁 (65歳)	大阪府 大阪市	施設野菜作 (シュンギク、トマト)・露地野菜作(大坂しろな等)経営	1 シュンギクの連作障害の回避に向け、作付前後のチッソ含量の調査結果に基づき、府の標準施肥量より大幅に削減した施肥体系を確立。契約栽培による伝統野菜の復活に貢献。 2 府「農の匠」の会会長等として、府内農業者の資質向上、府農業大学校学生の受入など若手農業者の育成に貢献するとともに、収穫体験の受け入れ等、府民への農業理解に尽力。
はた ふさお 畠 房生 (64歳)	兵庫県 稲美町	施設トマト専作経営	1 ロックウール養液栽培や少量土耕栽培を行うとともに、IPM技術や環境制御技術を導入して高収量・高品質トマトの安定生産技術を確立し、高い技術力により安定経営を実現。 2 県ハウストマト研究会会長として施設トマト生産者の技術向上を推進。県農業経営士会役員、農協理事を務め、地域農業の活性化と次世代の青年農業者の育成に大きく貢献。
はぎわら たけし 萩原 健 (69歳)	奈良県 奈良市	施設イチゴ・水稲作複合経営	1 イチゴでは炭酸ガス施用、雨よけ高設ベンチ育苗等の新技術をいち早く導入するとともに、新品種を先駆的に導入し産地確立に貢献。水田の荒廃を防ぐため水稲の作業受託にも取り組む。 2 共同出荷体制の構築、新品種・技術の普及等、産地発展に尽力。人・農地プランとりまとめ等を通じて地域農業の維持・発展とともに、県指導農業士として後進育成に尽力。

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
はしづめ 橋詰 (64歳)	たかし 孝 和歌山県 海南市	カンキツ専作 経営	<p>1 有機肥料の施肥，無摘果・枝つり栽培，隔年結果を抑制する剪定技術により，ミカンの連年高収量・高品質化を実現。規模拡大と併せ省力・多品目化とネット販売を推進。</p> <p>2 県指導農業士として，若手農業者への高品質連年結果技術の指導に努め，産地発展に寄与。研修生を多数受け入れ，農業後継者の育成に尽力。地域の耕作放棄地対策を先導。</p>

(中国四国地域 6名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
つぼくら かつゆき 坪倉 勝幸 (63歳)	鳥取県 日南町	水稲・ソバ作 経営	<ol style="list-style-type: none"> 1 中山間地において、水稲の機械化一貫体系や「水田湛水平置き育苗」等の新技術、作業受託体制を先駆的に確立。借地による大規模稲作、売れる米作りによる優良経営を先導的に実践。 2 中山間地に適した水稲優良品種の選定・導入と産地化に貢献。青年農業者の育成やほ場整備・集落営農の推進による担い手の確保、生産基盤の改良や地域農業の振興に尽力。
あおやま ひとし 青山 仁 (72歳)	岡山県 久米南町	ブドウ専作経 営	<ol style="list-style-type: none"> 1 「シャインマスカット」の早期導入と冷蔵技術による出荷期間の拡大。「ピオーネ」と「シャインマスカット」の加温栽培と簡易被覆栽培による大規模経営の確立。 2 就農アドバイザーとして新規参入者の就農相談、栽培指導等に貢献。耕作放棄園や葉たばこ廃作地をブドウ園に再生する取組に尽力し、新規就農者等の園地確保に貢献。
うね けいいちろう 畝 啓一郎 (77歳)	広島県 東広島市	水稲・大豆作 経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> 1 集落の「土地をみなで守る」という理念を具現化するため、農事組合法人を設立し、大型農業機械の導入、特別栽培米の安定生産を実現。酒米生産に取り組み、JGAPを取得。 2 集落法人連絡協議会会長として、270集落法人の設立に貢献し「集落営農法人連絡協議会サミット」開催に尽力。低コスト化のための法人間連携を推進し地域農業の振興に貢献。
いまくら ひであき 今倉 秀明 (63歳)	徳島県 阿波市	露地野菜作 (レタス・ト マト・プロッ コリー) 経営	<ol style="list-style-type: none"> 1 露地レタスにトマト等を組み合わせ、効率的な野菜作付体系を確立。レタス自動包装機や移植機等の導入により省力化を図り、土づくりに重点をおいた高品質生産を実践。 2 JA部会長として「柿島レタス」のブランド化や環境に優しい農業の取組等に尽力し、産地の維持・発展に貢献。県指導農業士会長等を歴任し、担い手育成・地域振興に貢献。

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
むくろま たかお 六車 孝雄 (71歳)	香川県 さぬき市	水稻・麦作経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> 1 米・麦経営に転換後、新品種、先進的栽培技術の導入により、効率的経営を实践。もち性はだか麦の直接販売、畜産農家と連携した飼料用米栽培等経営の多角化を实现。 2 地域及び県内農業の発展に幅広く寄与。県オリジナル品種の普及拡大や新たな米生産・販売一貫体系への尽力。全国農業経営者協会会長として全国の稲作経営者、農業経営者の組織リーダーとして農業の発展に貢献。
わけ しげた 和氣 茂太 (68歳)	愛媛県 西予市	酪農経営	<ol style="list-style-type: none"> 1 先進的でゆとりある酪農経営を目指し、低コスト化、省力化を図るとともに、トウモロコシの周年利用やTMR飼料との混合給与体系の確立により地域のモデル的酪農経営を实现。 2 県内初の酪農ヘルパー組織の設立によりゆとりある酪農経営の实现に貢献。酪農経営者協議会長等として担い手の育成、地域農業の活性化や家族経営の安定化等に貢献。

(九州・沖縄地域 9名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
はなだ ひろみち 花田 寛道 (71歳)	福岡県 福津市	水稲・ブロッ コリー作経営	1 水稲とブロッコリーを組み合わせた収益性の高い経営を实践。県育成品種の導入等付加価値の高い米の販売により、地域のモデルとなる経営を確立。 2 県稲作経営者協議会会長を務め、土地利用型農業のモデルとして、地域農業の発展に貢献。ブロッコリー部会の設立に関わり、産地の育成に貢献。
ちき した しょうぞう 千喜田 省三 (65歳)	佐賀県 唐津市	切花キク専作 経営	1 各種キクによる周年作付け体系により高品質キクを九州・中国地方の市場へ出荷。統合環境制御技術など先端技術を積極的に導入し、県内最大規模で高収益性キク経営を確立。 2 県キク研究会初代会長等花き関連の要職で花き振興に貢献。地域おこし団体会長や道の駅取締役等で中山間地域活性化に尽力。県農業士会副会長として新規就農者を確保・育成。
くぼ た よしふみ 久保田 芳文 (77歳)	長崎県 雲仙市	露地ミカン・ ハウスビワ作 経営	1 マルチ高畝栽培等为先駆けて導入し、高糖度産地ブランドの安定生産に寄与。新品種・新技術の導入に積極的に取り組み、優れた生産技術で高収量、高品質果実生産を実現。 2 県果樹研究会柑橘部会長等を務め、地域のリーダーとして地域農業を振興。高糖度カンキツ栽培技術を産地に普及。担い手の育成のため、積極的に研修の受け入れに協力。
とみの くにお 富野 邦雄 (71歳)	熊本県 山鹿市	葉タバコ・水 稲・小麦作複 合経営	1 いち早く青色申告を導入するとともに、ブロックローテーションによる連作障害の回避、土壌診断に基づく土づくりと機械化による省力化でゆとりある農業経営を実現。 2 家族経営協定を推進するとともに、地域のリーダーとして女性の農業経営や地域社会への参画の促進に尽力。圃場整備と用排水路分離の事業推進で水害を克服。

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
こうやま ゆういち 香山 勇一 (64歳)	熊本県 益城町	カンショ専作 経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> 1 規模拡大と併行して熱源を利用した長期貯蔵による周年供給体制を確立。規格外品を利用したペースト等幅広い商品開発やHACCP認証の取得、輸出にも取り組み、安定経営を実現 2 地域の子供を対象とした農作業体験や加工部門等の導入による雇用創出により地域振興に尽力。県法人協会会長として県立農業大学校で講師を務める等幅広い分野で地域に貢献。
こいで みきお 小出 美紀夫 (66歳)	大分県 竹田市	施設トマト・ ニンジン・ キャベツ作 経営	<ol style="list-style-type: none"> 1 連棟強化型ハウス、自動施設かん水、簡易隔離床等の最新技術を先駆けて導入・実践し、産地の生産拡大に寄与。トマト新品種の導入と栽培技術の改善によりブランド化に貢献。 2 関係機関と連携して就農研修施設を開設し、代表理事として研修生の指導・就農支援に貢献。研修制度は他地域・品目にも波及して、県全体の新規就農者の増加に大きく貢献。
おにつか のぶゆき 鬼塚 長幸 (62歳)	宮崎県 西都市	カラーピーマン 専作経営	<ol style="list-style-type: none"> 1 自動開閉装置やヒートポンプ、循環扇、つる下げ斜め誘引方式を先進的に導入し、促成カラーピーマン経営を確立。(公財)園芸作物育種研究所が行った裂皮の少ない新品種育成に貢献。 2 カラーピーマン部会長として、選果機導入により調整出荷作業の省力化を図るとともに、増反の取組や選果等の徹底について部会を牽引。指導農業士として後継者育成等に貢献。
なかつじ まさと 中辻 正人 (71歳)	鹿児島県 鹿屋市	切花キク専作 経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域に先駆けた輪ギク電照栽培やシェード栽培、無側枝性品種等の導入で周年出荷栽培体系を確立。計画的な規模拡大と法人化や労働環境の整備などで大規模経営を実現。 2 地域の花き振興会長を歴任し、新品種や技術実証により産地形成に尽力。県指導農業士や市教育委員として新規就農者等の指導、学生の研修受入等で人材育成と地域振興に貢献。

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
<small>なかつ</small> 仲松 <small>ますみ</small> 益實 (73歳)	沖縄県 石垣市	サトウキビ 作・肉用牛複 合経営	1 サトウキビ作でハーベスターと心土破碎機の導入による土壌改良とオペレーターを務めつつ規模拡大を実現。肉用牛繁殖は自給飼料主体のTMRによる飼料設計での飼養管理を確立。
<small>なかつ</small> 仲松 <small>すまこ</small> 須磨子 (70歳)			2 益實氏は県農業機械士・県指導農業士としてサトウキビ生産機械化や作業安全、担い手育成に貢献。須磨子氏は女性認定農業者育成の取組に尽力。県の農業男女共同参画の先駆け。

農業改良普及功労者

(一般社団法人 全国農業改良普及支援協会推薦)

緑白綬有功章(国内) 4名

氏名	住所	表彰事由
やんべ まこと 山家 眞 (76歳)	宮城県 仙台市	作物担当普及員として「ササニシキ」の生産拡大や工芸作物の先進技術の普及・指導に従事し産地の維持発展に貢献するとともに、新任普及員の育成や普及活動と連携した園芸産地づくりに尽力した。退職後は県普及職員OBのリーダーとして普及センター応援活動を積極的に展開し、平成29年に全国改良普及職員OB会会長に就任、本年5月に再任され4年目を務めており、現職とOBの交流の企画など普及事業の充実強化に貢献している。
きがえ けいこ 寒河江 啓子 (71歳)	山形県 南陽市	生活改良普及員として、農業経営及び農村生活の改善に取り組むとともに、農村女性リーダー等の育成、加工・直売組織の育成と活動の活性化を図るなど、徹底した地域に密着した普及活動を進め、地域の活性化に大きく貢献した。退職後は、経営支援アドバイザーや6次化プランナーとして、知識と経験、技術を活かした食品製造業及び農産加工組織の指導・支援や農産加工組織の6次産業化推進と事業拡大支援に尽力している。
ふくだ かずあき 福田 和明 (69歳)	埼玉県 熊谷市	在職時から普及一筋、農業改良普及員、専門技術員、普及主務課長及び農林振興センター所長として、米麦の高品質・安定生産・二毛作体系の確立、露地野菜産地の振興など地域農業の農業振興と普及指導員の育成に尽力した。退職後はJA全農さいたまの技術顧問に就任し、営農指導員の指導を行うとともに、自らが中心となって立ち上げた集落営農組織の担い手として活躍し、地域農業の維持・発展に貢献している。
いとう きだお 伊藤 定男 (74歳)	愛知県 豊橋市	県第一号の花き専門の農業改良普及員として、若手生産者指導によるバラ産地形成、キク産地を支える技術革新、山間地への高収益品目導入、農業教育環境の整備推進等、日本一の生産額を誇る県の花き生産の基盤作り・発展に大きく寄与した。退職後は、花きのスペシャリストとして農業大学校で講義を担当し、その知識を農業後継者に伝えてきた。現在も農家への技術指導や講師を数多く勤めており、地域農業の振興に広く尽力している。

農業技術開発功労者

(公益社団法人 農林水産・食品産業技術振興協会推薦)

緑白綬有功章(国内) 1名

氏名	住所	表彰事由
あいの 相野 <small>まさたか</small> 公孝 (63歳)	兵庫県 神戸市	ナス科青枯病の防除について、蛍光性シュードモナス菌が青枯病菌に対して拮抗能を有することを発見し、これまで不可能とされていたほ場レベルでの拮抗菌の定着の実現により、土壌病害に対する生物的防除を飛躍的に進歩させた。 また、生物農薬の実用化に際して大きな障害であった製剤化の問題に取り組み、培土に内生細菌を吸着させた育苗用培土を開発するとともに、生物農薬として製剤化・商品化を成功させ、IPM(総合防除)技術の発展に貢献した。

元兵庫県立農林水産技術総合センター
農業技術センター所長

平成25年度(第69回)農業技術功労
者表彰受賞

本会功労者

紫紅綬名誉章（国内） 2名

氏名	住所	表彰事由
いしはら くに 石原 邦 (87歳)	東京都 世田谷区	本会に対する功績特に顕著なるを認め頭書の名誉章を贈りその功労を表彰（業務活動推進）
はたなか たかはる 畑中 孝晴 (86歳)	東京都 小金井市	本会に対する功績特に顕著なるを認め頭書の名誉章を贈りその功労を表彰（業務活動推進）

紅白綬有功章（国内） 5名

氏名	住所	表彰事由
まるやま きよあき 丸山 清明 (73歳)	茨城県 牛久市	本会に対する功績顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその功労を表彰（業務活動推進）
くわな きよぶみ 桑名 清文 (73歳)	神奈川県 川崎市	本会に対する功績顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその功労を表彰（業務活動推進）
よしおか ひろし 吉岡 宏 (72歳)	千葉県 船橋市	本会に対する功績顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその功労を表彰（業務活動推進）
ささき まさかつ 佐々木 正勝 (76歳)	岩手県 盛岡市	本会に対する功績顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその功労を表彰（業務活動推進）
おかだ まこと 岡田 誠 (72歳)	山形県 東根市	本会に対する功績顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその功労を表彰（業務活動推進）

公益社団法人 大 日 本 農 会

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13

三会堂ビル7階

TEL 03-3584-6739

FAX 03-3584-0573